

イグ・ノーベル賞受賞  
東山教授に聞く

# モノの見方 考える 股のぞきから



講師 東山篤規氏

(立命館大学教授)

イグ・ノーベル賞は、ノーベル賞のパロディとしてアメリカで創設された賞で、人々を笑わせ、考えさせるさまざまな分野の研究に授与されてきました。前かがみになって股の間から後ろ方向にもものを見ると、実際より小さく見える「股のぞき効果」の研究で、知覚心理学が専門の東山篤規氏(立命館大学教授)らに、2016年 イグ・ノーベル知覚賞が贈られました。受賞研究を「役に立たないが、面白いと人を喜ばせる点で役に立っている」と評する東山教授に、「股のぞき」を解説していただくとともに、さまざまなモノの見方・見え方について語っていただきます。

【日時】平成29年 **3月17日(金)** 18時30分から20時 (開場18時)

【場所】 **大阪市立中央図書館** 5階大会議室  
〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2  
地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線 西長堀駅下車 7号出口すぐ

【定員】300名 当日先着順 入場無料



【お問い合わせ】

大阪市立中央図書館 でんわ06-6539-3302

<http://www.oml.city.osaka.lg.jp>

